

いつも食べる純炭きよらをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

きよら通信担当のゆっきーが、腎臓病お役立ち情報をお届けします(^^)／



腎臓病新薬“フォシーガ”の続報！

2021 年の夏は、腎臓病患者さま悲願の新薬が承認された事が話題になりました。1991 年に球形吸着炭である「クレメジン」が発売されて以来なんと 30 年ぶりの腎臓病治療の新薬なのです。

過去のきよら通信はこちら→



新薬の詳細はきよら通信 vol.29 で紹介しています。
こちらの QR コードよりご覧頂くか、『きよら通信29』で検索
してみてください。

きよら通信 29

検索

純炭粉末公式専門店では「きよら通信」を通じて腎臓病薬の情報を発信していますが、2021 年の秋ごろから「フォシーガを飲み始めたよ！」というお声が届き始めました。そこで、今回のきよら通信では、フォシーガを飲み始めたあなたや、これから飲んでみようと思っているあなたに参考になりそうな体験談をお届けしたいと思います。

体験談その1

フォシーガを飲み始めて、eGFR が下がってしまった A 様の例
開始 1 か月目の検査でクレアチニンや eGFR が悪化していました。そこでフォシーガの販売元である小野薬品工業の「くすりの相談室」に電話してみたところ「フォシーガ投与 2 週間で eGFR が 4.0 程度下がることもある」と説明されたそうです。



純炭社長のチェックポイント

純炭社長が調べてみたところ、初回承認時の 2 型糖尿病 1012 例中、6 例(その頻度はわずか 0.6%！)で腎機能障害が報告されていました。

しかし、またフォシーガが腎臓に良い効果を発揮するには、少なくとも 4 か月の服用が必要というデータも見つかりました。

「まだまだ不透明感があり、一喜一憂するところではありますが薬効を信じて、もうしばらく経過をみたい」と A 様は語っておられました。

A 様の素晴らしいところは、悪化した検査結果を見てもすぐに服用を中止せず、疑問点をご自身で製薬会社へ問い合わせ、納得して服用を継続している点だと思います。



自分が飲んでいる薬について調べたい時は、医薬品医療機器総合機構の添付文書情報サイトが便利です。製造元や販売元の問合せ窓口電話番号もわかりますよ。

体験談その2

フォシーガ服用中に尿素窒素(BUN)が上がってしまったB様の場合

B様はフォシーガ開始後3か月目の検査で

尿素窒素(BUN)が2倍に跳ね上がってしまいました。

クレアチニンやeGFRには大きな変化は生じていないものの
なぜ？食事の内容が悪かったせい？と思ったそうです。



項目	値	参考範囲
尿素窒素(BUN)	130	130~210
クレアチニン	1.19	119以下
eGFR	40	40~119
血中脂質	149	149以下
血糖	70	70~109
HbA1c(NGSP)	5.5	5.5以下
尿酸	1.04	1.04以下

純炭社長のチェックポイント

フォシーガには尿の量を増やす作用があります。尿量が増えると腎臓に負担がかかる
脱水が起こることを知っていたB様は毎日1.5~2Lの水分摂取を心掛けていたそうです。
にもかかわらず、昨年12月の検査ではBUN/クレアチニン比が急上昇しており、赤血球や
HbA1c等も上昇していたことからフォシーガによる脱水状態だと判断されたそうです。



クレアチニンやeGFRは前回と、あまり変わっていないのに
尿素窒素(BUN)が大きく上昇している場合は、フォシーガで
脱水になっている可能性があります。
また、脱水で血液が濃くなるとアルブミン(ALB)や尿酸値も
高くなることがあるので、過去の検査表と見比べてください

血糖コントロールの飲み薬、腎臓が心配な場合はどれが良い？

メトホルミン(メトグルコ、グリコランなど)は2型糖尿病の唯一の第一選択薬として君臨
してきました。ところが、米国糖尿病学会は2022年版ガイドラインで「腎機能が低下している
場合はメトホルミンを第一選択とせず、(フォシーガのような)SGLT2阻害薬の投与が求め
られる」という趣旨に改めました。

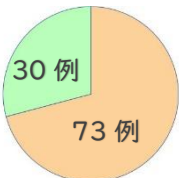
同時期に「日本人においてもSGLT2阻害薬は他の糖尿病治療薬に比べて腎臓を保護
する効果が高い」という研究成果が報告されました(川崎医大と横浜市大の共同研究)

《結果1》



eGFRの年間低下率はSGLT2阻害薬(フォシーガ以外も含む)で-0.47
であったのに対し、他の血糖降下薬では-1.22で、明らかにSGLT2阻害薬
の方が腎機能の低下速度が緩やかになった。

《結果2》



約2年の調査で腎機能が半分以上低下(または透析に至った)した103例の
内訳はSGLT2阻害薬を使用していた群は30例、他の血糖降下薬で73例
であったため、明らかにSGLT2阻害薬を使用していた群の方が少なかった。

糖尿病があって腎機能も心配という方は血糖コントロール薬の
種類によって腎機能の低下速度が変わるので、フォシーガのような
SGLT2阻害薬を1つの選択肢として、先生に相談してみても
良いかもしれませんね。



純炭粉末

公式専門店